

## 第7回 静岡市市民活動促進協議会 議事録

と き 平成19年12月14日(金)11:00~12:00

ところ 静岡市役所本館3階第一会議室

出席者 委員： 日詰会長、木村副会長、石野委員、磯谷委員、川島委員、駒形委員、坂野委員、  
佐野委員、東山委員、深澤委員、八木委員  
(欠席：大島委員)

事務局： 宮城島主査、青木主事

議事の前にまで市長に答申を実施した。

### 議 事

(1) 市長への答申(10:35~10:50、市長応接室)

(2) タウンミーティングについて

事務局：(タウンミーティングの日時等説明)

日詰会長：タウンミーティングには、各委員で参加できるのであれば参加していただきたいと思っています。各委員が、出席できるところに出席するということがいかがでしょうか。

事務局：1人1回分なら謝金を用意できます。

日詰会長：お金のことは考えなくてもよいと思います。

磯谷委員：2日日程の都合がつくので参加したいと思います。

事務局：タウンミーティングの中で、委員のみなさんから一言いただく時間を設けるのかについて検討をお願いします。

日詰会長：タウンミーティング全体のイメージはどうなっていますか。

事務局：(タウンミーティングの流れを説明。)昨年度の条例策定の際のタウンミーティングでは、市の説明と意見交換の間に木村委員から委員の考え方や協議の様子をご紹介いただきました。

日詰会長：木村さん、条例のタウンミーティングはどうでしたか。

木村副会長：教室形式の全体でやったときもあれば、少人数の時は対話形式で行ったこともあります。私は、他の市民のみなさんがどのような考えをもっているのか知りたかったので参加しました。市民生活課も都市経営課も丁寧に説明していましたが、参加者にとっては、パワーポイントによる説明を追いかけるのに大変だった印象があります。したがって、今回は説明内容を絞って2~3分にして、中学生でもわかるようにしたらどうでしょうか。

石野委員：条例のときのタウンミーティングでは、パワーポイントの説明を理解するのは大変だったという感想を聞いています。

事務局：本来はパワーポイントとして出す資料も配布すべきだったが、その資料を配布しなかつ

たのがいけなかったと思います。

八木委員：参加者から質問は出ましたか。

木村副会長：質問は出ました。

石野委員：蒲原では、もっと意見を聞く時間が欲しいという意見がありました。冒頭に長々説明するのはどうかと思います。

日詰委員：フリーディスカッションなど手法はいろいろあると思います。

石野委員：タウンミーティングには、意見を言いたい人が集まっていると思うので、意見を述べる時間を多くとる必要があると思います。

駒形委員：石野委員に賛成します。

木村副会長：タウンミーティングでは、参加してくださった方へお礼を伝えた記憶があります。

事務局：事務局としては、できる限り、自由に発言していただくのがよいと考えていました。

木村副会長：席の配置は工夫する必要があります。行政対市民という席の配置はよくないでしょう。条例のタウンミーティングでは、私は委員として前に座らされてしまいました。

日詰会長：会場の場づくりは大切だと思います。

事務局：参加者からのタウンミーティングの感想として、「市の説明はわからなかったが木村委員の話はわかりやすかった」との意見がありました。今回は、15分程度説明して、残りは意見交換を考えています。今のところ何人来るかかわからないので、最初は教室形式で準備し、参加人数で臨機応変に対応したいと思います。

日詰会長：委員としての役割について意見ありますか。

深澤委員：意見がなかったら口火を切るというのはどうでしょうか。

佐野委員：条例のタウンミーティングのときは、質問に対してや条例説明などどういった形で話をしたのですか。

木村副会長：市の担当者は、関係ない質問についても真摯に対応していたと思います。

深澤委員：委員の立場を離れて思いを話せばいいのではないのでしょうか。

佐野委員：委員が複数いるときに一人一人説明するのも変ではないのでしょうか。

木村副会長：一言ずつくらいならいいのでは。条例のタウンミーティングでは、お礼を伝えた記憶があります。

坂野委員：答申と計画では違うものなので、ここが重要だと説明するのは難しいでしょう。私が思うポイントとしてなら説明はできると思います。答申を出した者ですとの発言はできませんが、計画について意見を言える立場ではありません。代表者が話をするととなると、何を話すのか内容をつめないといけないのではないのでしょうか。

木村副会長：代表ではなくて、個人の思いでいいのではないのでしょうか。参加するのであれば、ファシリテーターとかコーディネーターの方がいいと思います。官が民に意見を聞くという雰囲気では、発言しにくいでしょう。本音を聞くには工夫が必要です。

川島委員：給食問題で反対側の立場で活動していたとき、どういう立場の人がどういう風に作成

したのか疑問に思った記憶があります。したがって、どういう人達が関わったのか説明が必要だと思います。

木村副会長：ぼくも経験があります。

日詰会長：タウンミーティングの形式は確かにありますが、それにとらわれなくていいのではないのでしょうか。

木村副会長：タウンミーティングの方法は自由でいいと思います。

日詰会長：何かしらコメントをした方がいいのではないのでしょうか。川島委員の発言のように誰が関わったのか顔が見えないのもよくないのではないかと思います。

佐野委員：コメントではなくて、自己紹介として発言すればいいのではないのでしょうか。その中で、自分の思いを触れればいいと思います。

深澤委員：興津で開催するときには参加人数が多そうなので、委員席は前ではなくて隅っこでいいと思います。

日詰会長：自己紹介を一人 1~2 分ずつ行うということによろしいか。各委員の思いについては、ディスカッションの中で触れるということできたいと思います。

事務局：タウンミーティングについては、基本的には教室形式で準備していこうと思います。

木村副会長：市からはどなたが参加されるのですか。

事務局：課長と事務局が出ます。事務局については、今後詰める予定です。

佐野委員：タウンミーティングについてどのように広報するのですか。

坂野委員：記事を読み落とせばそれまでになってしまいます。うまい通知の仕方を検討してもらいたいと思います。

八木委員：会場の選定理由は。

事務局：各区 1 か所で、各区のだいたい中心で選定しました。

磯谷委員：タウンミーティングのチラシも必要だと思います。

事務局：チラシについては、公民館等に配架する予定です。

川島委員：報道資料はどうなっていますか。アピールが必要。

事務局：報道資料を作成し、記者クラブに投げ込みを行う予定です。

深澤委員：町内会・自治会には広報するのか。町内会・自治会を通した方が人が集まるのではないかと。

事務局：今のところ特に考えていません。

川島委員：タウン誌には載せた方がいいと思う。

木村副会長：個別にダイレクトメールを出した方がいいと思う。

坂野委員：藁科、清沢やたぬき村などに送るのはどうですか。

事務局：清沢には直接送りたいと思います。

佐野委員：報道機関には、依頼しているのでしょうか。

事務局：報道資料は資料提供はしますが、個別の報道機関にお願いするようなことは予定してい

ません。

日詰会長：広報関係は、市にうまくやってもらいたいと思います。それぞれ各委員の都合を事務局で調整をお願いします。また、会場のレイアウトは事務局に任せ、人数次第で臨機応変に対処すること、そして、一人1～2分で自己紹介を行うことにします。今後のことについて、事務局の方から何かありますか。

事務局：今年度もう一度協議会を開催しますのでよろしくをお願いします。

磯谷委員：来年静岡にできる新センターについて協議するのであれば、ぜひ清水市民活動センターを一度見てほしいです。

事務局：今回は、清水市民活動センターで会議を開催することで検討したいと思います。